

歴史館いずみさの  
(泉佐野市)

ザ・見遊じあむ

30



歴史館いずみさの

泉佐野の地名は中世以来の村の名称「佐野」に旧和泉国の国名を冠したものであるが、「狭い原野」という事から「狭野」というようになり、それが転じて「佐野」になったという言い伝えが残っています。

「歴史館いずみさの」は1996(平成8)年5月18日に開館しました。

中世の村の暮らしを再現

この博物館の特徴は何と言ってもリアルな大型模型をはじめとした中世の松園と当時の暮らしを伝える点です。600年から700年前の12〜13世紀、このあたりには日根荘の荘園がありました。当時の朝廷とも近い九条家の所領だといわれています。日本の中世には農民、職

人、商人、武士、僧侶など、さまざまな人たちが歴史の表舞台に登場してきました。その活動の舞台になったのが荘園でした。館には600メートル×700メートル規模の荘園を200分の1に縮尺した日根荘園の復元模型がありました。当時の農村風景を模型にして再現しています。模型に

は日根神社、神宮寺、武士の居宅、農村集落、田畑、ため池など、歴史資料にもとづいて配置され、田畑や市場で働く人たち、街道を往来している人たちなども見事に再現されています。

また、展示資料では「海に活躍する佐野の人々」では海洋交易と海上交通に関わった人たちが紹介されています。館では特別展、企画展、ミニ展示などの展示をおこなっています。

ミュージアムメモ  
▶所在地/〒598-0052 泉佐野市市場東1-295-1 ▶交通/南海本線泉佐野駅から徒歩20分、コミュニティバスでは中回り「総合文化センター」バス停下車徒歩2分 ▶開館時間/午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで) ▶休館日/月曜日 ▶観覧料/一般200円、高校100円、中学生以下は無料 ▶問い合わせ/☎0724-69-7140

「バンテージポイント」



大統領狙撃事件の真実は？  
二転三転のストーリー展開

大統領狙撃の真相はいったい何か。事件に関わる8人の目撃者が8つの異なる視点で犯人像を追ったサスペンス映画です。斬新なストーリー展開と8人の目から導き出されてくるその結末とは…。上映時間は90分程度で、最近の映画としては短い方ですが、とにかくテンポの早い映画です。

「視点」のこと。ストーリーを少し紹介。シークレットサービスのトーマス・バーンスは、同僚のケント・テイラーとともに、スペインのサラマンカで開催される首脳会議に出席するアメリカ大統領の警護にあたっていました。サラマンカ到着直後、大群衆を前に広場でテロ撲滅のスピーチを行う大統領が突然、何者かに狙撃されに陥った広場の中で、8人が狙撃の瞬間を目撃していました。

主演のシークレットサービスにデニス・クエイド、デニスの同僚役にはテレビドラマで人気のマシュー・フォックス。そのほか『ラストキング・オブ・スカイ』でアカデミー賞最優秀主演男優賞を受賞したフオレスト・ウィテカーや『エイリアン2』のシガーニー・ウィスターなどが登場するのも話題です。

このシネマ ガラエイガ

大阪の戦跡を歩く

第29歩

教育塔  
(大阪市中央区)

災害犠牲者の慰霊と「教育勅語」の象徴



大阪城公園の西南にひときわ高くそびえる教育塔

広い大阪城公園の西南の角にあたる広場に、ひととき高い塔が建っています。この塔の名は教育塔です。1934(昭和9)年の室戸台風は死者1639人、被災人口は40万人。なかでも木造校舎の多かった学校は実に146校が倒れ、学童533人が圧死しました。この災害を機に、不慮の事故や災害の犠牲となった児童・生徒・教職者の慰霊のために、戦前の帝国教育会が設置したものです。完成した1936(昭和11)年10月30日に、除幕式と第1回教育祭が行なわれました。戦後、この事業は日本教職員組合に引き継がれましたが、碑の台座には校長が「教育勅語」を読む光景がレリーフとして刻まれていることなど、戦前の教育統制の象徴として批判の声もあります。

千利休と堺

撰津河内和泉三國誌

30

(堺市堺区)



堺市立博物館の敷地にある千利休像

堺市の大仙公園にある堺市立博物館の植え込みの中に千利休の座像があります。戦国時代から安土桃山時代の茶人として有名な千利休は、1522年、堺の商家の生まれ。家業は納屋衆(倉庫業)。若年より茶の湯に親しみ、17歳で北向道陳、ついで武野紹鷗に師事し、師とともに茶の湯の改革に取り組みました。堺の南宗寺の本山である京都郊外紫野の大徳寺とも親しく交わりました。

織田信長が堺を直轄地としたときに茶頭として雇われ、のち豊臣秀吉にも仕えました。1587年の北野大茶会を主管して秀吉の重い信任を受けました。秀吉の聚楽第の築庭にも関わり、禄高も3000石を受け茶人としての名声を高めました。しかし、1591年、利休は突

然秀吉の勘気に触れて堺に蟄居を命じられました。その後京都に呼び戻された利休は1591年4月21日聚楽屋敷内で切腹を命じられ、70歳の生涯を終えました。切腹に際しては、弟子の大名たちが利休奪還を図る恐れがあることから、秀吉の軍勢が屋敷を取り囲んだと伝えられています。利休忌はグレゴリオ暦の3月27日および3月28日に大徳寺で行われています。堺市宿院には利休の茶室跡と伝えられる場所があり、市の史跡として保護されています。

千利休の名はその人生の終焉での名であり、茶人としては千宗易を名乗っています。利休の名は「利心、休せよ」(才能におぼれずに「老古錐(使い古して先の丸くなった錐)」の境地を目指せ)といわれています。

「利休著『利休鼠』『利休焼』『利休棚』など、多くの事物に利休の名が残っており、茶道のみならず日本の伝統に大きな足跡を刻んでいます。

いまも心に響く  
名詩・名歌・名語録

この世をば 我が世とぞ思ふ望月の  
欠けたることもなしと思えば  
藤原 道長

標記の歌は『新古今集』にある藤原道長の歌。藤原道長は996年、三条天皇を退位させて政權を握り続けて、3人の娘がそれぞれ天皇の妃になり、この頃は栄華の絶頂期でした。この歌は、1018年10月16日の夜、道長の屋敷での祝宴のときに詠んだものとされています。この日、屋間に娘の威子が後一条天皇の皇后になる儀式がありました。14人の公卿がこの道長の歌を声を合わせて朗唱したと道長の日記『御堂関白記』に書かれています。しかし、望月は満ちたときから欠けていくように、一族の隆盛も次第に陰り、1027年12月4日、道長は病没。享年63歳。